

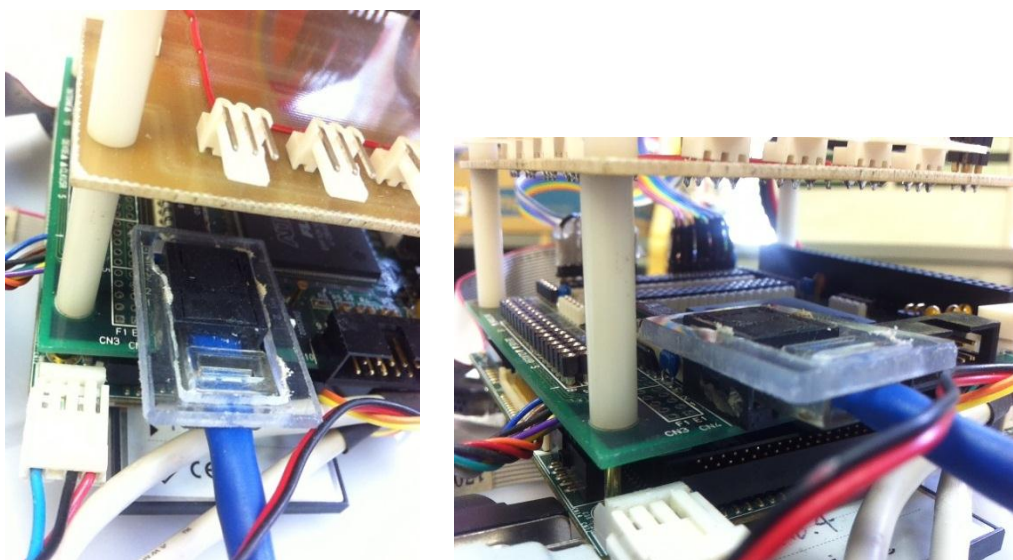
ドータボードの試験に関する考察を行う

MIRS1201 では、下段ボードは新規作成し上段ボードは既存のものを使用する。

当初の試験では、上段ボード、下段ボードともに正常な動作はせず、`irs_ts_ws_test` の結果はセンサの取り付けの有無、センサの入力の有無に関わらず 1 (取り付けなし or センサ ON) であった。

⇒これは FPGA ダウンロードケーブルの接触が悪く起動時に初期化が行われていないことが原因であった。

下記に示すような治具を作成し FPGA ダウンロードケーブルを固定し解決した。



この結果、当初の問題は解決したが、センサを取り付けていないポートの出力は 1 とはならず計測毎に変化していた。

この問題は競技用プログラムの際にはセンサを取り付けていないポートは使用しないので問題視しないこととする。

また、TS[2]のポートは CPU の不具合より使用できない。